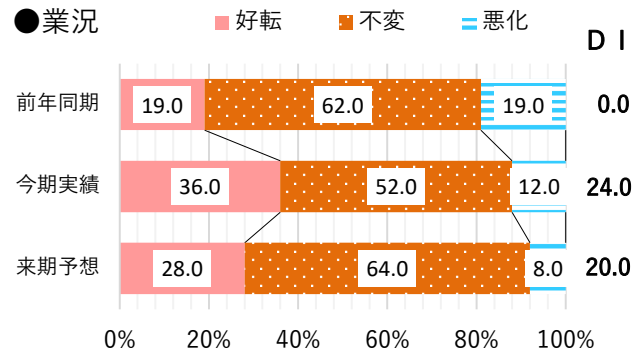


サービス業

業況、売上、採算

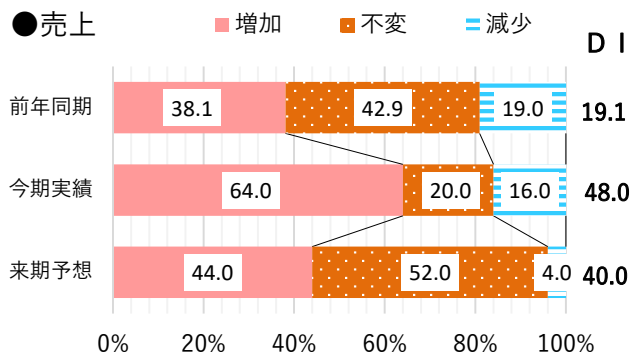
今期（2025.4～6）の業況判断DIは24.0で、前年同期（2024.4～6）と比べ24.0ポイント上昇しました。

来期（2025.7～9）の業況DIは今期（2025.4～6）と比べ4.0ポイント低下すると予想しています。



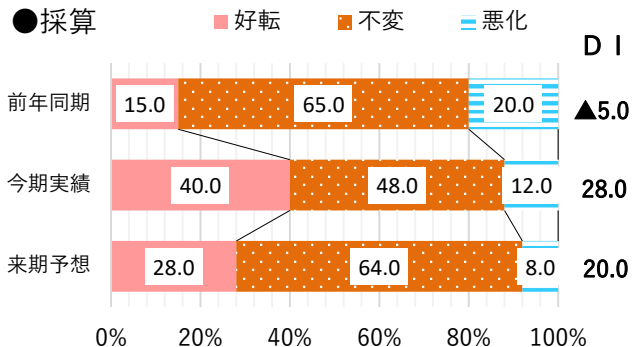
今期の売上高DIは48.0で、前年同期と比べ28.9ポイント上昇しました。

来期の売上DIは今期と比べ8.0ポイント低下すると予想しています。

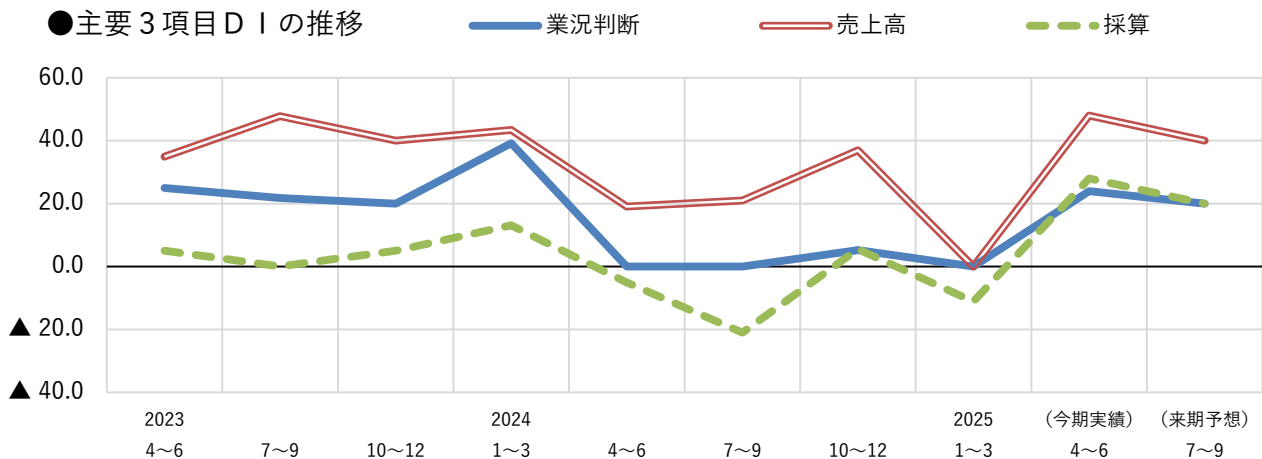


今期の採算DIは28.0で、前年同期と比べ33.0ポイントと大幅に上昇しました。

来期の採算DIは今期と比べ8.0ポイント低下すると予想しています。



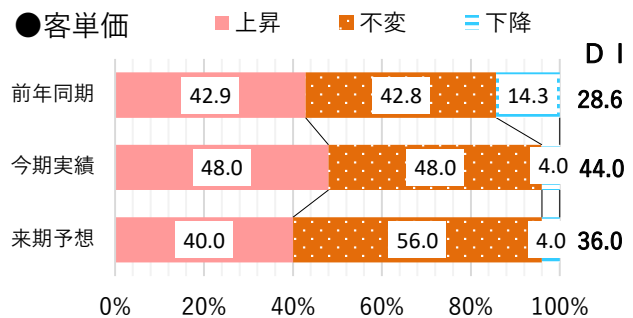
●主要3項目DIの推移



客単価、利用客数、仕入単価

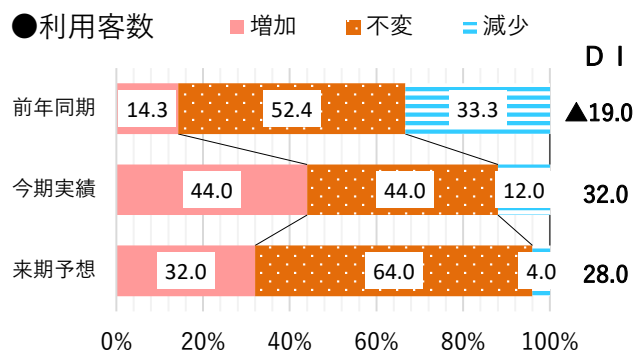
今期の客単価DIは44.0で、前年同期と比べ15.4ポイント上昇しました。

来期の客単価DIは今期と比べ8.0ポイント低下すると予想しています。



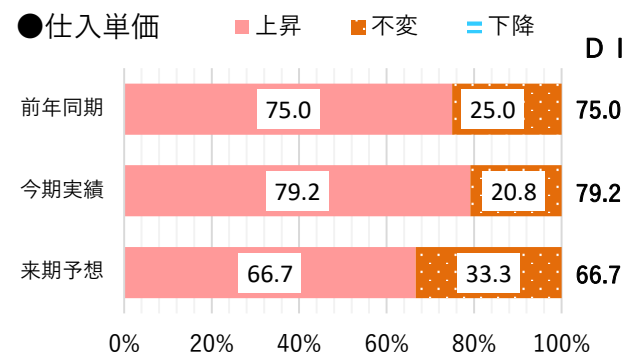
今期の利用客数DIは32.0で、前年同期と比べ51.0ポイントと大幅に上昇しました。

来期の利用客数DIは今期と比べ4.0ポイント低下すると予想しています。



今期の仕入単価DIは79.2で、前年同期と比べ4.2ポイント上昇しました。

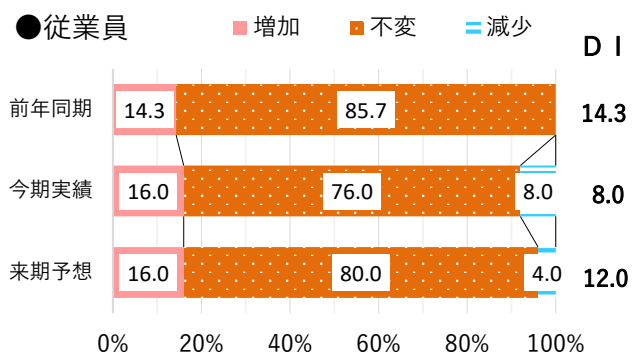
来期の仕入単価DIは今期と比べ12.5ポイント低下すると予想しています。



従業員、今期の雇用状況

今期の従業員数DIは8.0で、前年同期と比べ6.3ポイント低下しました。

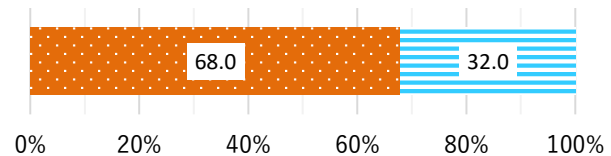
来期の従業員DIは今期と比べ4.0ポイント上昇すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は68.0%、不足していると回答した企業の割合は32.0%でした。

従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、52.0%を占めました。

●今期の雇用状況 ■ 過剰 ■ 適正 ■ 不足

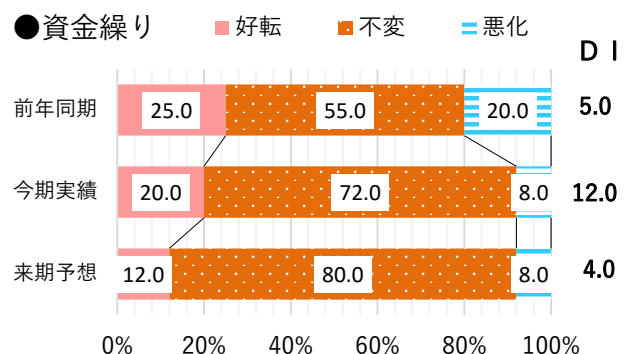


今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	3
	不足	1
不変だった	過剰	0
	適正	13
	不足	6
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	1

資金繰り、設備投資

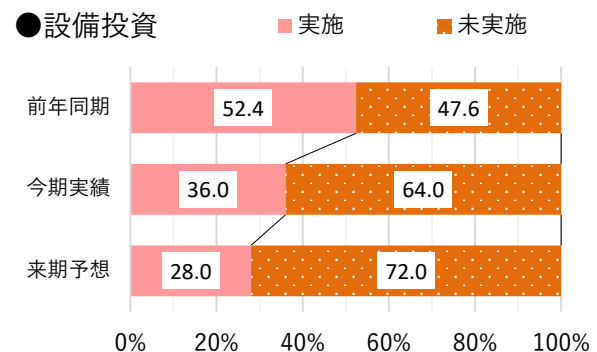
今期の資金繰りDIは12.0で、前年同期と比べ7.0ポイント上昇しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ8.0ポイント低下すると予想しています。



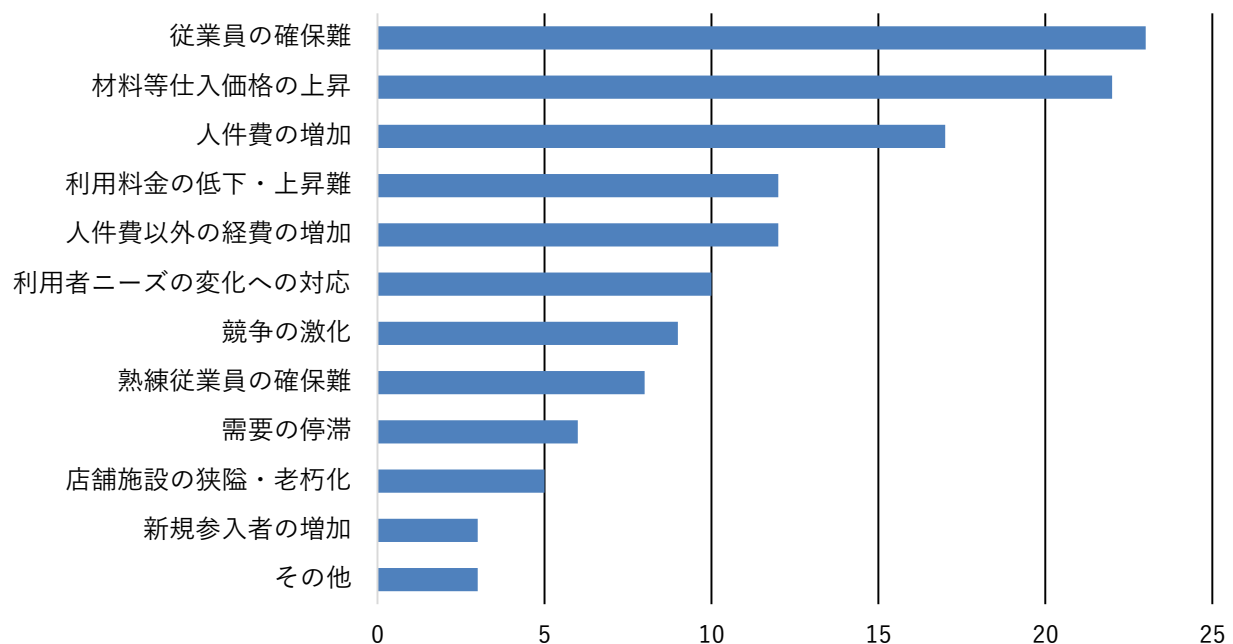
今期の設備投資は36.0%が実施と回答し、前年同期と比べ16.4%減少しました。投資内容は、1位が「車両運搬具」、2位が「OA機器」、3位が「サービス設備」、「付帯設備」（同位）の順です。

来期は28.0%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「材料等仕入価格の上昇」、3位が「人件費の増加」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 5月から団体、個人の観光客が増え始め売上が上昇したが、仕入価格が高値で業況は好転しているが利益はさほど変わらない状況となっている。(飲食店)
- 顧客が適時値上げに応じたため、採算が好転した。(ビルメンテナンス)
- 20代～40代の若手人材の確保が難しい。(ビルメンテナンス)
- 利用客数の減少と仕入価格の上昇で、利益率が減少した。(写真業)
- 人件費の上昇について値上げ交渉を実施し、利益確保に成功した。(各種物品賃貸業)
- AI導入などにより仕入価格が若干上昇したが、前期と変わらない水準である。
(情報処理・提供サービス)
- 販管費の大幅な削減を実施し、主要事業の需要が増加した。(情報処理・提供サービス)
- 客単価と売上が上昇したが、1人の施術時間が長くなるのと、スタッフの確保が上手く出来ず他の利用客をお断りすることが多く、客数が伸びなかった。また、仕入価格は5月も値上げであった。
(美容業)
- 今期は売上、客数ともに予定を上回ったが、経費の増加が今後不安である。(不動産代理・仲介業)
- 来場者が減少したので、売上額も減少した。(スポーツ施設)

[来期の業況について]

- 来期も同様と思う。(飲食店)
- 最低賃金や値上げ交渉の動向にもよるため、業況は不変とした(ビルメンテナンス)
- デジタル化の波で客数が減少し、売上高の上昇につながらないと予測する。(写真業)
- 病院の経営悪化や、医師不足による閉院が影響する可能性が大いにある。(各種物品賃貸業)
- 売上、仕入価格ともに変化なしと予測する。(情報処理・提供サービス)

- 主要事業の需要が増えると予想する。（情報処理・提供サービス）
- これからイベントが増えるため利用客が予定を立てるのが容易になるので、予約が普段より埋まっている。今期の流れに乗って売上に期待したい。また、仕入価格が高いので商品在庫を置かずに、予約注文販売を行うことも検討中である。（美容業）
- 来期は大きな変化ないと予測する。（不動産代理・仲介業）
- 利用客数、売上額ともに不変と予測する。（スポーツ施設）